

## 2022年度JKA補助事業 医療機器の整備(新型コロナウイルス等感染症)について、2回目の自己評価を行ってください。

・提出期限 : 2024年1月31日(水)

・提出先 : m2022hyoka@keirin-autorace.or.jp

### 《2022年度JKA補助事業 自己評価書(2回目) 記入のしかた・記入例について》

\* **青字部分**は記入例です。記入の際、参考にしてください。

\* **水色箇所**は記入箇所、**ピンク色の項目**は選択肢の中からひとつを選択していただく項目、**緑色の項目**は複数選択可の選択項目となります。

\* 以下の【記入にあたっての注意点】もご一読のうえ、ご記入ください。

#### 2022年度自己評価書(2回目) 様式・記入例 ↓

#### 【記入にあたっての注意点】

整理番号	2022M -	050	補助事業者名	公益財団法人〇〇〇会	補助事業名	医療機器の整備 (新型コロナウイルス等感染症)
------	---------	-----	--------	------------	-------	----------------------------

  

2022年度 JKA補助事業 自己評価書(2回目)									
項番	1	/	総事業 項目数	2	補助事業項目名	PCR検査装置の導入			
作成日		2024	年	1	月	20	日	作成者	競輪 太郎

  

1. JKA補助 新型コロナウイルス等感染症に関する医療機器について(2022年度補助事業で整備された医療機器についてご記入ください。)

導入機器名	PCR検査装置(〇〇 ABC-1234、〇〇 DE-56789)
導入形態	<input type="radio"/> 更新(同種機器入替) <input type="radio"/> 新規(初めて導入) <input checked="" type="radio"/> 増設(同種機器複数台目)
機器の設置場所 (施設名等)	公益財団法人〇〇〇〇会付属△△△病院
機器設置場所所在地 (住所)	東京都港区港南一丁目2-70
導入機器の特徴・用途	新型コロナウイルス等感染症に関する医療機器として、人工呼吸器が必要な患者に対して延命措置が可能。 新型のPCR検査機器を導入することにより、これまでよりも短時間で検査が可能。

◆整理番号、補助事業者名(法人名)を記入してください。

◆事業項目が複数ある場合は、何項番目の事業かご記入ください。  
例) 事業項目が2つあるうちのひとつめの事業の場合 → 項番:1、総事業項目数:2 となります。

◆事業項目数が複数ある場合は、項番それぞれの事業項目名を記入してください(項目ごとに自己評価を作成)。

◆作成日、作成者名を記入してください。

◆今回、補助事業で導入した機器の具体的な機器名を記入してください。

◆あてはまるものをひとつ選択してください。  
**!! 注意 !!** 「新規」については、今回導入した機器を法人として初めて導入した場合、選択してください。  
機器の入れ替えや台数の増設の場合は、「新規」は選択しないでください。

◆導入した機器を設置した施設名、およびその施設の所在地(住所)をご記入ください。

◆導入機器の特徴を記入してください。

利用開始日	2022	年	10	月	15	日	①
運行月	稼働日数 (日)	利用回数 (回)	主な利用内容				
1 2022年 6月	②	③	④				
2 2022年 7月							
3 2022年 8月							
4 2022年 9月							
5 2022年 10月	5	213	新型コロナウイルス等感染症に関して、PCR検査を実施した				
6 2022年 11月	20	2,468	新型コロナウイルス等感染症に関して、PCR検査を実施した				
7 2022年 12月	26	2,556	新型コロナウイルス等感染症に関して、PCR検査を実施した				
8 2023年 1月	31	2,676	新型コロナウイルス等感染症に関して、PCR検査を実施した				
9 2023年 2月	30	2,635	新型コロナウイルス等感染症に関して、PCR検査を実施した				
10 2023年 3月	24	2,476	新型コロナウイルス等感染症に関して、PCR検査を実施した				
11 2023年 4月	26	2,489	新型コロナウイルス等感染症に関して、PCR検査を実施した				
12 2023年 5月	22	2,746	新型コロナウイルス等感染症に関して、PCR検査を実施した				
13 2023年 6月	30	2,678	新型コロナウイルス等感染症に関して、PCR検査を実施した				
14 2023年 7月	28	2,637	新型コロナウイルス等感染症に関して、PCR検査を実施した				
15 2023年 8月	24	2,467	新型コロナウイルス等感染症に関して、PCR検査を実施した				
16 2023年 9月	31	2,696	新型コロナウイルス等感染症に関して、PCR検査を実施した				
17 2023年 10月	30	2,676	新型コロナウイルス等感染症に関して、PCR検査を実施した				
18 2023年 11月	26	2,625	新型コロナウイルス等感染症に関して、PCR検査を実施した				
19 2023年 12月	24	2,465	新型コロナウイルス等感染症に関して、PCR検査を実施した				
計 ※	377	36,503	※計は自動計算されます				

- ◆① 機器を導入して利用を開始した日付を記入してください。
- ◆② 機器を稼働させて使用した日数を月ごとに記入してください。  
例) 1日のうちに5回使用した場合でも、「1」と数えます。
- ◆③ 機器を利用した回数を月ごとに記入してください。  
例) 1日のうちに5回使用した場合は、「5」と数えます。
- ◆④ 治療内容や使用方法など、その月の利用内容を記入してください。

JKA補助 医療機器 導入の効果 (複数選択可)	選択	効果	選択	効果
	<input checked="" type="checkbox"/>	稼働日数・稼働件数が増加した。	<input checked="" type="checkbox"/>	患者・被験者の身体的負担が軽減された。
	<input checked="" type="checkbox"/>	より効率的な検査が可能になった。	<input type="checkbox"/>	患者・被験者の精神的負担が軽減された。
	<input checked="" type="checkbox"/>	より精度の高い検査が可能になった。	<input checked="" type="checkbox"/>	操作者の身体的負担が軽減された。
	<input type="checkbox"/>	より安価に検査を行えるようになった。	<input type="checkbox"/>	操作者の精神的負担が軽減された。
	<input type="checkbox"/>	その他 ⇒		

◆複数選択可です。効果があった項目について、**あてはまるものすべて**にチェックを入れてください。

※「その他」を選択した場合、その詳細を記入してください。

上記「導入の効果」の中で最も効果があったと思われるものを一つ挙げ、その詳細をご記入ください。

最も効果があったこと ⇒	稼働日数・稼働件数が増加した。
稼働件数の増加 〇〇〇検査機器の導入により、短時間で精度の高い検査ができるようになった。そのため、一日の検査可能な件数の上限が増え、検査の処理数が大幅に増加した。	

◆上記「導入の効果」で選択した項目のうち、最も効果があったと思われるものをひとつ選択してください。  
(プルダウンで選択できます。)

◆上記「最も効果があったこと」で選択した項目について、具体的にどのような効果があったか、その詳細を記入してください。

2. 以下の評価項目について、ご記入ください。

a. 個別の評価項目について、交付申請書添付の『事前計画／自己評価書(3/5) 4. 補助事業の事前計画』の、達成状況等を把握し、ご記入ください。  
○ 採点基準については、2022年度補助事業実施に関する事務手続要領『別冊評価要領』自己評価スコアリングガイドをご参照ください。

(1) 受益者 (ニース)		新型コロナウイルス等感染症の検査において、今回導入した〇〇〇〇機器を使用することにより、短時間で精度の高い検査を行うことが可能となった。これまで新型コロナウイルス等感染症と診断するまでには時間を要し、患者さんが感じる「病名が確定しないという不安」を長引かせてしまうことがあったが、以前よりも早く正確に診断ができるようになったことにより、患者さんの負担の軽減につながり、また、治療にも早く取りかかることが可能となった。			採点 4
(2) 事業内容	事業の発展性	今回の検査機器導入により、発熱患者の早期対応がより可能となった。そのため、コミュニティにおけるクラスターリスクを軽減し、感染の防止を目指していきたい。 なお、今回導入した〇〇〇〇機器については、院外からも検査依頼があるなど、地域での共同利用もできている。			採点 4
(3) 達成目標	事業の成果・波及 ※自己評価1回目から変化があった場合に記入ください。	達成値	達成状況	具体的内容	採点

◆ 1回目の自己評価の際と同様に、事前計画／自己評価書(3/5)の目標に対し、どれだけ達成できたかを記入してください。  
採点欄については、記入用紙に添付されたスコアリングガイドを参照の上、採点してください。  
(点数はブルダウンで選択できます)

◆ (3) 達成目標については、1回目の自己評価時から達成状況などに変化があった場合、変化があった後(現在)の状況について記入してください。  
**!! 注意 !!** 達成状況のパーセンテージについては、1回目の自己評価時との比較ではなく、事前計画／自己評価書(3/5)記入の内容と比較して算出してください。

b. 交付申請書添付の『事前計画／自己評価書(2/5) 3. 補助事業実施の必要性(1) 補助事業が最終的に目指すこと』の、達成状況をご記入ください。

検査機器の導入により、感染症への早期対応が可能となったことで重症化する前に適切な処置が可能となった。その結果、新型コロナウイルス等感染症に感染した患者の中でも、入院医療の提供が必要な重症患者の受入病床を確保し、更なる受入体制を強化することができるようになった。

◆ 事前計画／自己評価書(2/5)の「最終的に目指すこと」に対して、現時点での達成状況を記入してください。

3. 当該機器を導入、使用することにより、メディア等で紹介された事例がございましたら教えてください。

〇〇〇ジャーナル 2023年2月号

◆ 導入した機器について、新聞や雑誌、テレビやラジオ等のメディアで紹介された事例があれば記入してください。  
特になければ「特になし」と記入してください。

4. 過年度のJKA補助事業で導入した機器を使用した成果事例がございましたら教えてください。

・平成28年JKA補助事業で導入した〇〇〇システムにより、〇〇〇細胞の〇〇に必要な〇〇〇を発見した。  
・令和元年JKA補助事業で導入した●●●機を用いて、●●●に関する新たな●●●を発見した。

◆ 今回導入した医療機器以外に、以前JKA補助事業で医療機器を導入したことがある場合、それらの機器を使用した難病研究等の成果事例があれば記入してください。

5. 新型コロナウイルス等感染症を取り巻く状況や課題をお聞かせください。また、JKA以外で医療機器への助成を行っている補助団体についてご存知であればお教えてください。

新型コロナウイルス等感染症においては、短時間で新たな変異株が発見されることから、対応が後手に回らざるを得ない点が課題となっている。また、患者人口が短期間に世界的に大規模であることから、製薬会社等がのワクチン及び治療薬の研究開発が実用化されるまで時間が必要となってくることから、予断を許さない状況である。

医療機器への助成を行っている団体として知っているのは〇〇〇協会。

6. 上記1～5についての補足や、JKAに対するご要望等がございましたら、ご記入ください。

自己資金による検査機器の導入費用の確保とが難しいため、今後もJKAが医療機器の導入に対して補助を行ってもらえると医療体制の強化の一助となると思われる。

以上となります。ありがとうございました。 m2022hyoka@keirin-autorace.or.jp までご送信ください。

【医療機器（新型コロナウイルス等感染症）】

◆新型コロナウイルス等感染症の分野における問題や課題等を記入してください。  
また、国の施策、それに対する影響等がありましたら併せて記入してください。

◆補助を受けたことがある・ないに関わらず、医療機器の助成等を行っている団体をご存知であれば団体名を記入してください。

◆この自己評価の補足や、JKAに対する要望等を記入してください。